



平成27年5月14日

各位

会社名 徳倉建設株式会社
 代表者名 代表取締役社長 徳倉 正晴
 (コード：1892、名証第2部)
 問合せ先 取締役経営管理本部長 郡司 哲夫
 (TEL. 052-961-3271)

通期業績予想値と実績値との差異及び剰余金の配当に関するお知らせ

平成27年2月6日に公表いたしました平成27年3月期の連結・個別業績予想と、本日公表の決算値に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、平成27年6月26日開催予定の第70回定時株主総会に剰余金の配当について付議することを決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想値と実績値との差異について

(1) 平成27年3月期 通期連結業績予想数値と実績値との差異

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	42,000	1,300	1,300	800	38円84銭
実績値 (B)	40,555	1,451	1,781	899	43円69銭
増減額 (B - A)	△1,444	151	481	99	
増減率 (%)	△3.4	11.6	37.0	12.5	
(参考) 前期実績 (平成26年3月期)	41,867	761	752	823	39円98銭

(2) 平成27年3月期 通期個別業績予想数値と実績値との差異

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

単位：百万円

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	30,000	1,100	700	33円62銭
実績値 (B)	28,763	1,407	778	37円41銭
増減額 (B - A)	△1,236	307	78	
増減率 (%)	△4.1	27.9	11.2	
(参考) 前期実績 (平成26年3月期)	29,431	564	737	35円42銭

(3) 業績予想との差異の理由

平成 27 年 3 月期の連結・個別の業績は、売上高は当初予想を若干下回りましたが、工事利益率の改善が進んだことによる売上総利益の増加、貸し倒れ実績率の低下や為替差益などにより、営業利益・経常利益・当期純利益とも増加する見込みとなりました。

2. 剰余金の配当について

(1) 配当の内容

	1 株当たりの配当金（円）	
	期 末	年 間
前 回 発 表 予 想 (平成 27 年 2 月 13 日)	2 円 00 銭	2 円 00 銭
今 回 発 表	4 円 00 銭	4 円 00 銭
前 期 実 績	—	—

(2) 理由

当期の期末配当予想につきましては、当初 1 株当たり 2 円としておりましたが、平成 27 年 3 月期の業績等を総合的に勘案し、検討した結果、1 株当たり 4 円に修正することとし、平成 27 年 6 月 26 日開催予定の第 70 回定時株主総会に付議することを決議いたしました。

以 上